

様式第3

会 議 録

会 議 名	令和元年度第1回野田市男女共同参画審議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 第3次野田市男女共同参画計画の取組状況について 2 第4次野田市男女共同参画計画の策定について(諮問)
日 時	令和元年8月22日(木) 午後2時から午後3時4分まで
場 所	市役所高層棟8階 大会議室
出席委員氏名	文道 尚子、古谷 道雄、石原 和子、石山 由美子、三品 陽美、長崎 梨奈、横川 しげ子、木名瀬 セキ、国松 実枝子、田中 恵子、平野 滋、梶山 美枝子
欠席委員氏名	倉持 又彦、中村 好枝、小出 由美子、筒井 圭子
事務局等	鈴木 有(市長)、今村 繁(副市長)、生嶋 浩幸(企画財政部次長(兼)企画調整課長)、荒井 幸則(広報広聴課長)、林 由美子(広報広聴課市民相談係長)、小嶋 亮(人事課長補佐)、初見 龍一(管財課長補佐(兼)契約係長)、松本 正明(営繕課長)、大塚 盛也(市民生活部次長(兼)市民生活課長)、森下 元博(防災安全課長)、宇田川 克巳(自然経済推進部次長(兼)商工観光課長)、山中 巖(農政課長補佐)、杉谷 健次(スポーツ推進課長補佐(兼)指導管理係長)、富山 芳則(保健福祉部次長(兼)生活支援課長)、伊原 誠宏(障がい者支援課長補佐(兼)計画係長)、善方 浩子(高齢者支援課長補佐)、安藤 剛行(介護保険課長(兼)地域包括支援センター長)、中代 英夫(保健センター長)、池田 亜由美(保健センター子ども支援室長)、小嶋 広美(保健センター

	主任技師)、初見 亜希子(保健センター主任技師)、小林 利行(児童家庭課長)、鈴木 和則(保育課長)、吉田 陽子(保育課管理係長)、金安 佳子(保育課主査)、小島 佐智子(保育課主査)、川野 尚武(生涯学習課長)、相澤 和子(青少年課長補佐(兼)青少年係長)、金子 寿一(指導課長補佐(兼)庶務係長)、宮田 明(参事(兼)消防総務課長)、田中 洋介(社会福祉協議会事務局長)、平野 紀幸(児童家庭部長)、戸邊卓哉(人権・男女共同参画推進課長)、広仲 真(人権・男女共同参画推進課主幹(兼)七光台館長)、鈴木 和子(人権・男女共同参画推進課長補佐(兼)啓発係長)、松崎 一行(人権・男女共同参画推進課谷吉会館長)、鈴木 佳子(人権・男女共同参画推進課主任主事)
傍 聴 者	無し
議 事	第1回野田市男女共同参画審議会の会議結果(概要)は、次のとおりである。
人権・男女共同参画推進課長補佐	令和元年度第1回野田市男女共同参画審議会を開会する。本日配布の資料を確認する。 会議の公開及び傍聴、会議資料及び会議録の公開について説明する。会議録作成のため録音機を使用すること、過去の審議会において、会議録における発言委員の氏名の公表、会議資料・会議録・委員名簿のホームページ公開が決定していることについて了承していただく。
市 長	市長の挨拶を求める。 <挨拶>
横川会長	会長の挨拶を求める。 <挨拶>
人権・男女	議事に先立ち、新しく就任した委員を紹介し、今年度初めて

共同参画 推進課長 補佐	の会議であるため、各委員から自己紹介をしていただく。
委 員	<順次、自己紹介>
人権・男女 共同参画 推進課長 補佐	会議の成立について報告する。 野田市男女共同参画審議会条例第6条第1項の規定により、 議長を横川会長にお願いする。 会議の傍聴について報告する。
横川会長	当局からの申出により、議題（2）の諮問を先に行う。 <市長から会長へ諮問する>
横川会長	事務局に、諮問書の写しの配付を依頼する。 年度内の答申について、各委員に協力を求める。
人権・男女 共同参画 推進課長 補佐	市長は公務により退席することを報告する。 <市長退席>
横川会長	議題1 第3次野田市男女共同参画計画の取組状況について 第3次野田市男女共同参画計画の取組状況について事務局に 説明を求める。
人権・男女 共同参画 推進課長	<資料に基づき、第3次野田市男女共同参画計画の取組状況を 説明>
横川会長	第3次野田市男女共同参画計画の取組状況について質疑及び 意見を求める。

国松委員	<p>今年1月の大変悲惨な事件が毎日のように新聞で報じられ、とても気にかけている。そのことに関して、対応をきちんとしているようですし、これから継続しているいろんな施策の中に反映していられると思う。</p> <p>野田市は、全国的に見ても、非常に男女共同参画に関しては優れた市だと思っており、全国から注目を浴びている。審議会の登用率は、一番初めに50%近くの数値目標を出し、実行された市として、関心を持っている人々の間ではよく話に出る。そのほかDVシェルターがある等、非常に優れたものがたくさんある。私はそういうものを継続してどんどん成果を上げていただきたいと願っている。特に例を出すと、21ページなんですけど、市の女性職員の登用促進で、分母はそれほど大きくない中、管理職をどんどん出していくのはとても難しいことだと思うが、着実に数字を伸ばしている。これは是非続けていただきたい。市自らがロールモデルの普及促進ということで名乗っており、その辺に市民は注目していると思う。是非実現を続けてほしい。応援の一言である。</p>
横川会長	<p>ほかに質問、意見等はないか。</p> <p><質問等無し></p>
横川会長	<p>議題1「第3次野田市男女共同参画計画の取組状況について」を了承することについて、異議はないか。</p> <p><異議無しの声></p>
横川会長	<p>議題2 第4次野田市男女共同参画計画の策定について 第4次野田市男女共同参画計画の策定について、事務局に説明を求める。</p>
人権・男女共同参画推進課長	<p><資料に基づき、第4次野田市男女共同参画計画を説明></p>
横川会長	<p>第4次野田市男女共同参画計画について質疑及び意見を求め</p>

古谷委員	<p>る。</p> <p>6ページにPDCAのサイクルを回すとある。私もかつて会社勤めの時に散々この手法を使っており、非常にいい手法だと思う。これを的確に回せば、素晴らしい効果が上がるだろう。そこで伺うのは、第4次計画の期間は6年間ということだが、このサイクルを回す周期についてどういうふうに考えているのか。</p>
人権・男女共同参画推進課長	<p>計画の周期は、国・県の男女共同参画計画の計画期間5年に基づき、市でも5年ごとに見直している。また毎年この審議会を開催し、施策の進捗状況、そして計画の見直しについてお諮りしたいと考えている。</p>
古谷委員	<p>計画期間が5年間なのは、非常に長丁場である。5年後の目標を定めて、年度ごとにどのようにPDCAを回していくか、そういったようなプロセスをきちんとしておかないと、5年目に振り返った時、アレっこんなことじゃなかったなあということに陥りがちになる。例えば今の目標が50%で、5年後に75%を目指すとする、いきなり75%は難しいので、1年後に55%にする、その次は、という段階を踏むやり方が良い。もう一つは、PDCAとは、PマイナスDイコールCで、CをゼロにするのがAction（アクション）というもので、要はP-D=Cとなる。Cは、計画に対して施策がうまくいったかどうかで、それをゼロにするためにアクション（Action）、修正操作をする。PCDAをうまく回すためには、目標にはなるべく、数値目標を入れる、この施策を強力に推進するとか、計画を実施するという目標では、うまくいったかどうか評価が難しいもので、例えば人数を目標にする、例えば虐待情報への48時間以内対応を野田市では24時間以内対応を原則としているが、原則を目標として、1年後の結果として100%できたのか、95%だったのか、と数値目標を入れるとサイクルを回しやすい。</p>
人権・男女共同参画	<p>資料1「第3次野田市男女共同参画計画（改訂版）進捗状況調査表」の表紙をめくったところ、上から三つ目の「女性活躍</p>

推進課長	<p>推進法に基づく国の基本方針に掲げる施策に対応する具体的施策」とあるが、これは平成27年にできた国の法律に基づき、後からこの計画に位置付けた。この項目の策定について審議会に諮った際、国から数値目標を示すことを言われているので次期計画を策定するときに数値目標を立てるとしており、第4次計画には、只今の御意見も踏まえ、数値目標を入れます。</p>
石原委員	<p>資料の5ページの計画期間だが、2019じゃなくて、2020ではないか。令和2年、来年からということ。</p>
人権・男女共同参画推進課長	<p>訂正します。2020が正しい。2020年から2024年の5年間になる。</p>
横川会長	<p>5ページの6、計画期間は、2020年度から2024年度に訂正してください。</p> <p>事務局は、委員からの意見等を十分に踏まえ、第4次野田市男女共同参画計画の策定に当たってほしい。</p> <p>本日の審議案件は以上となるが、事務局から何かあるか。</p>
人権・男女共同参画推進課長	<p>第2回男女共同参画審議会の開催は11月予定。日程が決まり次第、通知を行う。千葉県男女共同参画地域推進員事業として、11月30日（土）に野田市役所2階中会議室で講演会を開催する。チラシが出来次第、委員に案内する。</p>
横川会長	<p>議事終了につき、議長の任を解く。</p>
人権・男女共同参画推進課長補佐	<p>午後3時4分、閉会を宣言した。</p>